

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護の統合と実践	1	30	3	専任教員（公益社団法人 地域医療振興協会に委託）
ねらい	知識、技術、態度を統合し、これから遭遇する多様な場面での看護実践を、安全に効率良くおこなうための基礎的能力を養う。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	1. 看護の統合と実践とは 1) 医療における安全 2) 危険予知トレーニング(KYT) 3) 看護業務のマネジメント・優先順位	講義		
2回目	2. 気づきのトレーニング	GW・演習		
3回目	多様な場面での気づきを通して、看護につなげる演習			
4回目	3. 複数受け持ちの看護過程の展開	個人ワーク		
5回目	1) 事例提示～患者 A(誤嚥性肺炎)・患者 B・患者 C			
6回目	2) 看護計画立案			
7回目	4. 複数受け持ちの多様な場面での看護判断	GW・演習		
8回目	1) 優先順位を考えた行動計画とその根拠			
9回目	2) グループワーク発表・意見交換			
10回目	5. 危険予知トレーニング演習	GW・演習		
11回目	1) 患者 A の事例を通して危険予知トレーニング 2) グループワーク発表・意見交換			
12回目	6. 患者 A に対する点滴静脈内注射の薬剤準備・輸液管理	GW・演習		
13回目	(滴下数の計算・調節) 1) 計画立案 2) 技術演習			
14回目	7. 持続点滴中の患者の寝衣交換の工夫	演習		
14.5回目 (45分)	1) 多様な寝衣に合わせた方法を工夫する 2) 多様な体位に合わせた方法を工夫する			
15回目 (45分)	終講試験・技術試験	試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学② 基礎看護技術 I (医学書院) 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護技術 II (医学書院) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践② 医療安全 (医学書院) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践① 看護管理 (医学書院) その他看護過程展開に必要な教科書			
評価方法	筆記試験：50点(35分間) ・ 技術試験：25点(10分間) 看護過程：25点			
備考 メッセージ	看護の方法はひとつではありません。今までの授業・実習で学んだ全ての知識・技術を活用して、与えられた課題に対して「考える力」を身につけましょう。将来どのような看護師になりたいですか？			